

事務事業 No./名 称	■サービス部門 健福-14 扶助事業 □支援部門									
主管課	生活福祉課					関連課				
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	生活保護制度の適正な運用を図る									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	832人	822人	807人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	1,695,500	1,505,210	1,518,265						
	(国・県)	1,396,128	1,291,847	1,169,178						
	(負担金等)	10,214	6,592	14,387						
	(一般財源)	289,158	206,771	334,700						
	人員配置数	9	8.6	8.6						
	人件費(千円)	70,812	76,971	77,677						
	協働の パートナー	無	無	無						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,766,312	1,582,181	1,595,942						
	市民1人当 りの経費(円)	9,967	8,929	9,008						
	対象者1人 当りの経費(円)	2,122,971	1,924,794	1,977,623						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
	被保護世帯数	666	3,928	3,668	1,530	305				
	被保護人員	832	5,396	5,299	2,157	407				
	保護率(%)	4.79	13.15	12.71	9.12	7.03				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止				
扶助事業	1,695,500千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E		
	事業の概要	最低限度の生活を保障する生活保護費の支給															
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E		
	事業の概要																
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E		
	事業の概要																
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E		
	事業の概要																
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E		
	事業の概要																

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	平成23年度末に導入された新たな業務処理システムの安定、活用に努める。		
課題解決のための取組	システムを活用し業務効率化を図るとともに、安定性について検証を行った。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	平成25年度8月に生活保護基準の大幅な改定が予定されている。新基準へのスムーズな移行を図るとともにシステムの安定性を引き続き検証する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性 ○	生活保護制度の見直しに伴い、情報収集、システムの安定化を図り制度の適切な運用に努めていく。		↓ B	課長等名 生活福祉課長 曾根 健治
	③有効性 ○				
	④公平性 ○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
扶助事業	主な個別事業	87 生活扶助費	532,642	533,754	○	○	○	○
		87 医療扶助費	692,285	789,815	○	○	○	○
		87 教育扶助費	4,770	3,887	○	○	○	○
		87 住宅扶助費	299,455	304,198	○	○	○	○
		87 生業扶助費	4,061	2,598	○	○	○	○
		87 出産扶助費	237	0	○	○	○	○
		87 葬祭扶助費	4,020	3,016	○	○	○	○
		87 施設事務費	19,590	11,211	○	○	○	○
		87 介護扶助費	59,313	47,021	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							